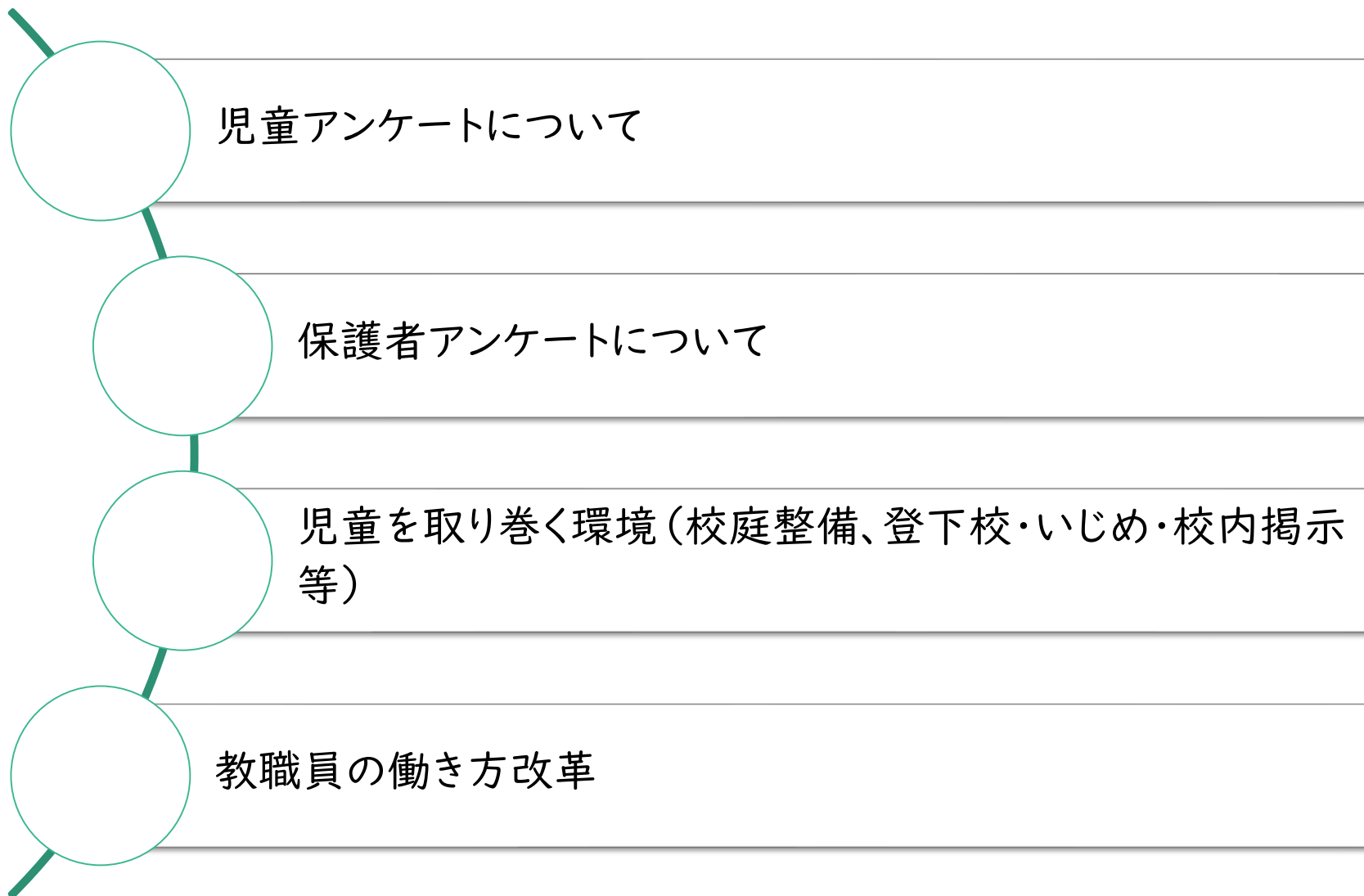


令和7年度
第2回 学校運営協議会

事前アンケートに関する資料

令和7年9月18日
水戸市立見川小学校



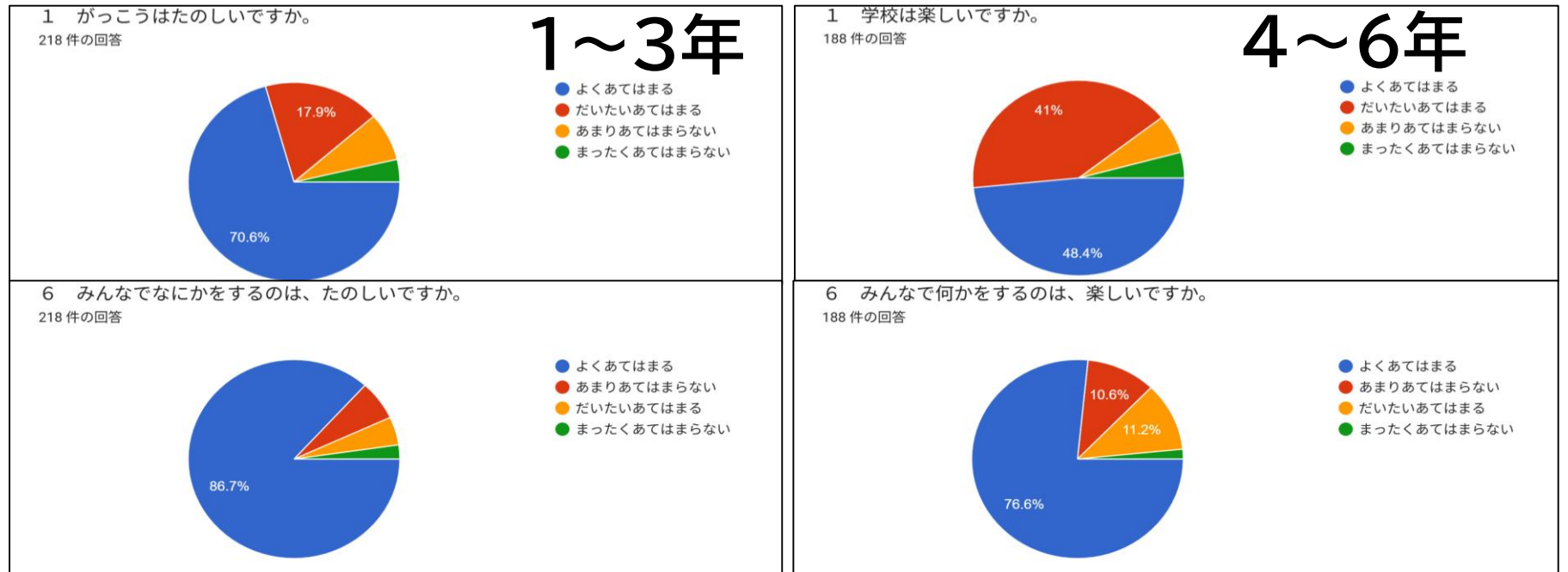


ご協力をいただき、ありがとうございました。

質問への回答 児童アンケートについて

Q 1 : 項目 1・6 「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した児童への対応について

A 1 : 各学年等を中心として具体的対応策を検討しています。
随時行っていること：記名ありの学校生活アンケート、
教育ダッシュボード こころの健康観察



質問への回答 児童アンケートについて

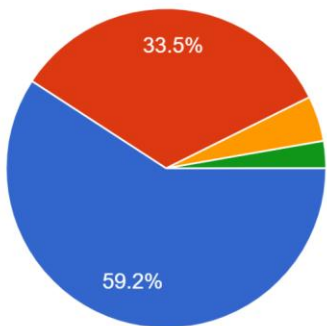
Q 2 : 項目 2 「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した児童への対応について

A 2 : 児童や保護者からの直接の相談へは直接対応
オンライン相談窓口も開設

話しやすい雰囲気づくり（毎週の職員集会による好事例の紹介・生徒指導担当者による報告・安全・安心な学校づくり）

2 せんせいは、こまったときに はなしをきいてくれますか。
218 件の回答

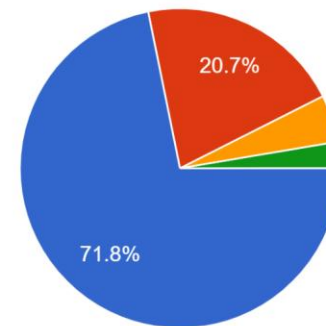
1~3年



- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

2 先生は、こまったときに話を聞いてくれますか。
188 件の回答

4~6年



- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

Q 3 : 回答「まったくあてはまらない」の割合を0%に近づける取組について

A 3 : 各学年等を中心として具体的対応策を検討しています。

- ・ 学校グランドデザインに基づいた各学年等における対応策の検討と実践
- ・ 発達段階を踏まえた児童一人一人の丁寧な実態把握と柔軟な適切な学びの場の検討、保護者との連携

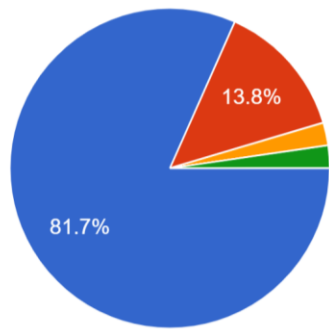
通常の学級 通級指導教室 特別支援学級

Q 4 : 保護者アンケートの項目 8 と、児童アンケート項目 13 について
また、熱中症対策の一環として持ち帰り自由後の自宅での活用方法
について

13 がくしゅうでタブレットを、ただしく つかえていますか。

218 件の回答

1~3年

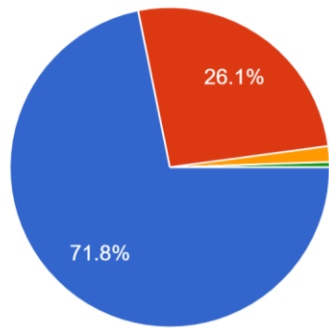


- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

13 学習でタブレットを、正しく使えていますか。

188 件の回答

4~6年



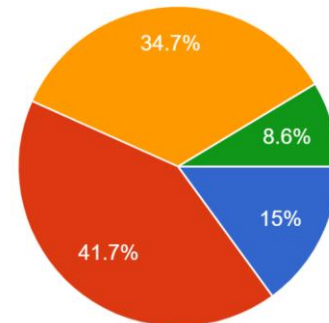
- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

A 4 : 家庭と学校での活用について、
活用頻度の差や目的の違いが
あることが考えられます。

8 お子さんは、家庭でタブレット端末を効果的に活用できている。

441 件の回答

保護者



- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

Q 5：デジタル教科書の使用についての教職員の感想について

A 5：通常の学級（1・2年生等）や特別支援学級の一部においてデジタル教科書を使用しています。国語や算数の問題について全体に説明する際に図を拡大して示したり、イメージを持ちやすくしたりしています。

また、英会話・外国語の学習では、タブレット端末を用いて、発音の練習をしたり、文を読んでいる発音を確認したりしています。

A E Tの発音と合わせて効果的に活用できていると感じています。

Q 6：校庭の整備状況について

A 6：令和6年度は設計、令和7・8年度で整備（外構工事、遊具などを設置）という予定です。

Q 7：登下校時の黄色帽子と2年生用黄色ベスト（夏以外）の着用率や保護者を含めた反応について

A 7：いずれの着用率も高いです。

2年生用黄色ベストは、一般社団法人みと児童安全安心サポート会議（代表理事 幡谷 定俊）様から、水戸市立小学校・義務教育学校の第2学年を対象として寄贈されています。

本校では、熱中症対策として夏の期間は、未着用の登下校も可としています。保護者からは、現段階で特に意見は頂戴しておりません。

Q 8：集団又は個人での登下校について
教職員の同行の今後の方向性について

A 8：本校では、これまでも個人での登校を行っております。
集団下校を行っていますが、状況により、教職員が一部同行しています。

登校の見守りは、保護者の皆様・防犯協会の方・民生委員さん・社会福祉協議会の方・スクールボランティアの方等にご協力をいただいております。

教職員の同行についての今後の方向性は、状況を踏まえて検討していきたいと考えています。

Q 9：いじめの認知件数が令和5年度から大幅に減少した理由について

A 9：どんなに小さなことであっても、学校はいじめとして捉え、チームとして必要な指導を行い、速やかに解決につなげていくことが重要だと考えています。いじめの認知件数の増減のみで判断することなく、体制整備を含め、常に見直すことが必要であると考えています。

年度	認知件数（件）
2	143
3	183
4	118
5	48
6	30
7	9（6/30現在）

Q 10：校内掲示「廊下を走らない」「トイレスリッパを揃える」「トイレ後手洗い」等への児童の反応について

A 10：各委員会の児童が担当教職員と話し合っって掲示物を作成しています。児童が主体となってイラストやキャッチコピーを考え、取り入れた掲示物を貼ることで、目で見ても分かりやすいものとなっています。

質問への回答 児童を取り巻く環境（校庭整備、登下校・いじめ・校内掲示等）

Q11：教職員の働き方改革の進捗状況について

A11：時間外勤務時間（土日祝日含む）

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
100時間超	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
80時間超	0	0	1	0	0	1	4	4	1	0	1	1	
45時間超	11	13	22	16	1	22	19	22	13	15	14	15	
45時間以下	21	19	10	17	33	11	11	8	21	19	18	15	
平均時間	44:34	49:38	54:47	48:53	15:12	49:16	56:22	56:53	40:36	40:56	46:59	50:31	32:06

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月
100時間超	0	0	0	0	0
80時間超	3	5	0	0	0
45時間超	16	19	19	9	0
45時間以下	14	9	13	23	33
平均時間	51:57	60:06	49:24	35:33	12:14

- ・100時間超の解消と4・5月の平均時間増
→業務の引継ぎを踏まえての若手教員を中核とした校務分掌の抜本的改革と意識改革
- ・7・8月の平均時間減
→二期制による業務改善等の影響

Q11：教職員の働き方改革の進捗状況について

A11：定時退勤日の導入 毎週金曜日

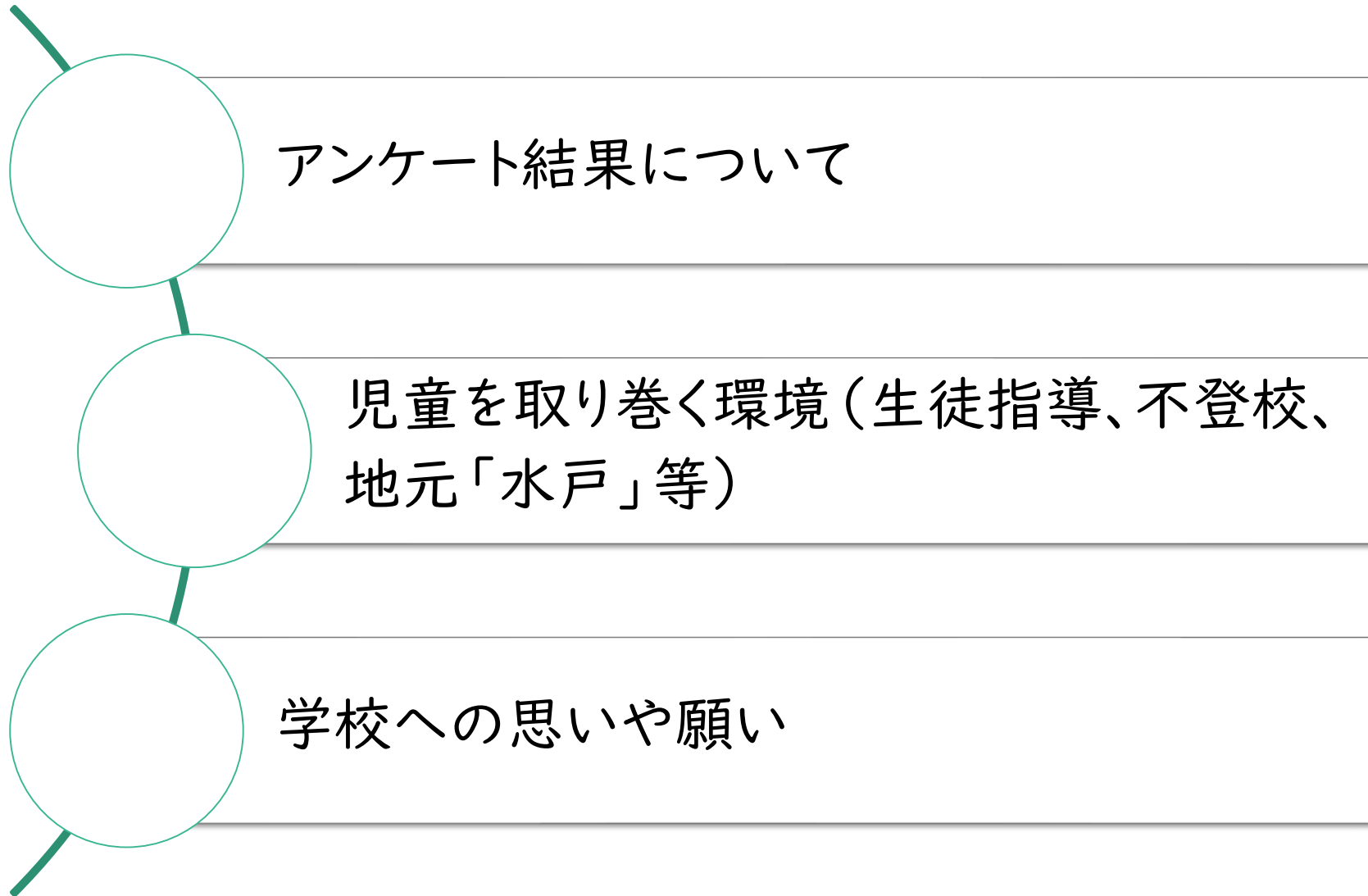
教務主任によるGoogleカレンダーを用いたスケジューリング
職員室へのモニター設置による教務主任の業務軽減

ホームページを活用した情報発信

誰もが見て分かりやすい生徒指導報告書の作成と活用

自動化・システム化を意識したワークフローの作成と活用

6・7月は二期制の導入による顕著な業務改善



ご協力をいただき、ありがとうございました。

- ・ 学校評価では、各評価とも改善がみられ、教職員、児童の前向きな取組の賜物と思われれます。
- ・ タブレット学習も順調にきているようです。

- ・ いじめの認知件数もここ数年大幅に減少しております。引き続き、キメ細かなご指導をお願いします。
- ・ いじめは、仲間を思いやる大切さに気づき、チームワークを育むことで、減っていくと感ずることができました。
- ・ 生徒指導 いじめ 暴力の減少 それは、学校や先生方の努力の成果なのか良いことです。
- ・ 不登校について
国と比較すると見川小が1.5～4倍多い。水戸市全体のデータもあると思います。これにより地域や環境関係も判断できると思います。

- ・ 地元「水戸」を実感できる体験の場づくり

地域に根ざした学校づくりのため、いろいろな体験や経験の場を教育活動に取り入れていただき、大変感謝しております。

先日、住みよい見川をつくる会の角田会長に誘われ水戸市主催の地域リーダー研修会に参加しましたが、そこで茨城ロボッツの川崎社長の話を聞き、人口減少の今、地方を盛り上げるためには子どもたちの記憶に残るふるさとづくりが大切だと感じました。そこで、もっと地元「水戸」を実感できる体験を教育活動の中に取り入れてみてはどうでしょうか？以下に、思い浮かんだものを、書いてみます。

①偕楽園の梅の実落とし

五軒小PTA会長から、周年行事の一環で偕楽園の梅の実落としを子どもたちに体験させて、とても好評だった、他の小学校にも広めたいとお話を伺いました。

身近にある偕楽園でそのような体験が出来ること、子どもたちも喜ぶと思いますし、地元「水戸」を意識しながら記憶にも残るのではないのでしょうか。

②水戸のプロスポーツチームの出前授業

水戸には、水戸ホーリーホックと茨城ロボッツ、2つのプロスポーツチームがあり、その事自体、地方では珍しいです。

水戸ホーリーホックには、キャリア学習や親子学習会などで、何度か出前授業を行っていただいているようですが、茨城ロボッツにも声をかけ、子どもたちが地元で活躍するプロスポーツ選手から話を聞いたり、運動を教わったりする機会を定期的に作ってみても良いかなと思います。

- ・日頃から温かいご指導・ご鞭撻に感謝しております。「明るく元気に」「自ら考え自ら行動できる」「思いやりのある」人間に育てて欲しいという願いは変わっておりません。「継続は力なり」です。今後共よろしくお願いいたします。
- ・私共地域住民は、それぞれの立場で、児童の健全な発育のため、学校関係者、保護者の方々と共にご支援、ご協力をしていきたいと思っております。
- ・教員間懇親会・レクリエーションを大いに行ってください。